

人郷夢

ストーリー

Vol.10

このコーナーでは、まちづくりなどの活動に取り組んでいる市民の方やグループにお話を伺い、活動内容や活動にかける思いをシリーズで紹介していきます。

4月から6月まで、大型観光キャンペーン「アフター・デスティネーションキャンペーン（※1）」が開催されます。

今回は、観光客に「おもてなしの心」であぶくま洞など田村市の魅力を案内している「あぶくま観光ボランティアガイドの会」副会長の蒲生克さんと庶務の渡辺トキさんにお話を伺いました。

はるかな時が創りあげた大自然の造形美

阿武隈高原の最高峰「大滝根山」の中腹に広がる「仙台平」。その地底に「あぶくま洞」があります。

石灰岩層に流れ込んだ雨水の溶食により、8000万年の長い歳月をかけて、大自然の神秘的な空間が創り出されました。公開されている全長600メートルの

洞内は、天井から下がるつらら石や石管、床下からタケノコのように上に向かって伸びる石筍、田んぼの畔のようなリムストーンなど変化に富み、鍾乳石の種類と数の多さでは東洋一の鍾乳洞ともいわれています。洞内は三層構造になっていて、最上層には高さ29メー

後の6月に公開されるとピーク時には入洞者が年間100万人を超え、県を代表する観光スポットとなりました。

トルの空間「滝根御殿」が広がり、壮大なスケールで観光客をお迎えます。

あぶくま洞は昭和44年9月、石灰石の採掘中に発見されました。その4年

後の6月に公開されるとピーク時には入洞者が年間100万人を超え、県を代表する観光スポットとなりました。

ボランティアガイドの会発足

「あぶくま観光ボランティアガイドの会」は平成13年9月11日、観光行事などへの協力や郷土相互理解を図ることを目的に設立されました。会員は観光客に「おもてなしの心」で接し、観光地・史跡・文化財などを案内。ピーク時の入洞者数を取り戻すことを目標にしました。

当初は、口コミで集まった20人で活動を開始し、開洞までの歴史や地質、おも

てなしの心」を研修しました。鍾乳洞の形成と維持には地下水が重要で、鍾乳洞の地上にある「仙台平」では、保水力を高めるために植樹活動もしていました。ドリーネ（※2）も、資源として活用できるよう、植林したブナの手入れなど整備も必要だと訴えています。

平成17年に田村市が誕生したときには、市全域をガイドできるよう、同じ「家族」である大越町、都路町、常葉町、船引町を訪問し、各町を学びました。現在、会員の中には「田村歴史観光協議会」に所属し、「征夷大将軍 坂上田村麻呂」や「豪族 大多鬼丸」の伝説をまとめた冊子を作成するなど、地域を超えて活動している方もいます。



▲あぶくま洞の豊富な種類の鍾乳石



▲観光客だけでなく集団見学する小中学生も案内します

おもてなしの心

今年が発足から15年、震災から5年の節目の年です。原発事故の風評被害により入洞者数は激減、平成23年度には年間5万人まで落ち込みました。27年度には20万人まで戻り、回復傾向にはあるものの、いまだ震災前の7割にも届いていません。会員は、少しでも観光客を増やそうと日々努力しています。

大事なものは心構え。心構えとは、「おもてなしの心」です。おもてなしは、サー



あぶくま観光ボランティアガイドの会 副会長 蒲生 克さん（前列左から3人目）
庶務 渡辺トキさん（前列左から2人目）

※1 デスティネーションキャンペーン…JRグループ6社と指定された自治体、地元の観光事業者等が協働で実施する大型観光キャンペーン。Destination（＝目的地・行き先）とCampaign（＝宣伝戦）の合成語で、「DC」と略される。福島県内では、平成26年度は「プレDC」、平成27年度は「DC本番」、平成28年度は「アフターDC」として、4月から6月にかけて実施。
※2 ドリーネ…石灰岩地域で見られるすり鉢状の凹地。溶食作用や、地下の石灰洞の拡大による地表の陥没で生じる。市内には滝根町から常葉町にかけて仙台平、鬼穴などがある。

ビス、言葉遣い、心のやりとり、気遣いなど幅広く、決まりはありません。観光客の方々に田村市を楽しみ、満足していただく。そして「また、来てみたい」と思ってもらえるようなガイドを心がけています。そしてこの春、「アフター・デスティネーションキャンペーン」でも、「おもてなしの心」で観光客をお迎えます。

取材を終えて

ボランティアガイドをしていてうれしかったことは何ですかと尋ねたところ、「お礼の手紙が届いたこと。毎年来てくれる市内の小學生とのふれあいも楽しい」とお二人は話します。震災の影響については、「入洞者数の減少だけ。観光客から放射線のこと聞かれない。8000万年の歴史があるのだから、安心して訪れてほしい」と安全・安心をアピールしています。現在の会員は15名で、高

あぶくま観光ボランティアガイドの会「あぶくま洞案内」一般コースと探検コースの2つから選ぶことができます。探検コースは、一般コースから別れ、とても狭い場所を探検する冒険的なコースです。
時間：午前10時～午後4時
ガイド料金：無料（入洞料は別途、探検コースは200円加算）
※10日前までにご予約ください。（都合によりお受けできない場合があります。）
●あぶくま洞管理事務所
78・2125

齢化が進んでいるのが悩み。「初めはお試してみたいので、興味のある方は一緒に「おもてなし」をしてみませんか」と会員募集中だそうです。でも、「私たちは、あぶくま洞を東洋一、いや、世界一の鍾乳洞と自負しています。田村市の宝であり、誇りです」と述べるお二人の言葉には、会の活動が、あぶくま洞、ひいては市の観光の活性化につながっていくという自信に満ちています。（協働まちづくり課・商工観光課）